

部局名	都市整備部	所属名	公園緑地課	所属長名	古木 明良	電 話	483-1151 内線3230
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3348		事務事業名称	県立八千代広域公園建設事業					短縮コード	経常		臨時	3348
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	05	公園建設費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		都市計画法第63条 都市公園法 地方財政法第23条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和46年（1971年）八千代市総合計画に「新川自然公園構想」として温めていた事業です。県立広域公園の構想は、千葉県の「緑のマスタープラン」と「花見川・新川緑と水辺のネットワーク計画」及び本市の「緑のマスタープラン」等を踏まえ、県政の長期ビジョン「2000年の千葉県」に基づく「さわやかハートちば5ヵ年計画」（平成3年3月）のなかにおいて、県立都市公園の一つとして位置づけられました。平成4年3月、千葉県がとりまとめた「八千代広域公園基本計画報告書」においては、これら上位計画を踏まえた新川沿岸の低地、崖線及び新川の水面を含め全体面積112ヘクタールを計画区域とし、このうち第1期計画区域として53.4ヘクタールに及ぶ基本計画を提案しました。平成7年3月22日、53.4ヘクタールについて都市計画決定され、平成8年1月22日、事業認可されました。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
①平成16年6月 新県立中央図書館の建設断念（定例千葉県議会） ②平成16年10月 知事と市長の懇談 合同検討会議発足の合意 ③平成16年11月 合同検討会議 合計7回 ～平成19年3月 基本計画見直し（千葉県） パブリックコメント ④平成20年1月 ト ⑤平成20年4月 基本設計見直し 事業認可変更（H21.3.26）事業期間、事業内容の変更 ⑥平成21年4月 県・市の合意に基づき市単独事業として総合グ ラウンド建設事業及び市立中央図書館整備構想に着手					大項目（節）	03	公園・緑地						
					中 項 目	01	公園・緑地						
					小項目（施策）	01	都市公園の整備						
					細 項 目	03	広域公園の整備促進						
実施計画の計画事業	4306	県立八千代広域公園建設事業											
	4307	総合グラウンド建設事業											
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成11年4月 ～ 平成30年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	県民・市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 事務委託契約締結（対千葉県） 用地取得に伴う交渉 広域公園建設負担金の支払い 県立八千代広域公園建設委託金の請求 ☆暫定スポーツ広場開設							
	※平成21年度に計画していること： 事務委託契約締結（対千葉県），用地取得に伴う交渉，広域公園建設負担金の支払い，県立八千代広域公園建設委託金の請求 ☆総合グラウンド建設事業（市事業）市民による全市的なスポーツイベント，小中学校による総合体育祭等が開催可能な施設を建設するため基本設計を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	公園面積を確保し，公園建設に資する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	19年度	20年度		21年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	公園用地として取得する面積	m ²	140,012	186,000	146,118	186,000	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	当該年度に取得した面積（累計）	m ²	140,012	145,000	146,118	150,000	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	総取得済面積／計画公園面積	%	75.3	78	78.6	80.6	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3348		事務事業名称		県立八千代広域公園建設事業		所属名		公園緑地課	
				単位	1 9 年 度	2 0 年 度			2 1 年 度		
					実績	計画	実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国		千円	0	0	0	0	0		
		県		千円	0	0	0	0	0		
		地方債		千円	36,300	28,800	14,400	18,900			
		一般財源		千円	18,955	16,997	13,840	26,104			
		その他		千円	0	0	27	0			
	主な事業費の内訳			用地取得に伴う負担金	用地取得に伴う負担金	用地取得に伴う負担金		用地取得に伴う負担金 ☆総合グラウンド建設事業			
	人件費 (B)			千円	5,362.3	20,209	20,256.5	17,845.9			
トータルコスト (A) + (B)				千円	60,617.3	66,006	48,523.5	62,849.9			

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	広域的なスポーツ・レクリエーション等の需要に対応できる事業であります。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	財政状況の悪化により、事業費の確保が困難となっており、事業期間を延長しています。 また、千葉県議会において、知事より中核施設として予定されていた仮称新県立中央図書館の建設が、財政難を理由に断念する旨の発言があったことから県と市で対応を協議しております。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	県立広域公園建設は、県の施策に関わる事項であります。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	県立広域公園建設は、快適生活空間を確保する重要な施策であります。						
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☒ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	スポーツ・レクリエーション施設の整備基本構想に基づき、市民による全市的なスポーツ大会やスポーツイベント、小中学生による総合体育祭が開催可能な施設として総合グラウンドを建設することにより、総合運動公園と機能連携した本市のスポーツ環境基盤の整備・充実に図ります。					
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☒ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
				2		実施主体 (所管部署)			
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある	平成22年度から着手する八千代市都市再生整備計画により、新川を中心に潤いと安らぎの場を創造し、人と人とのふれいを導き、主人公である市民が幸せに暮らせる都市の実現を目指します。平成21年度においては、世界的な景気後退が続く中で、内需、外需ともに厳しい状況が続くことが懸念されます。					
			☐ ない						

コード	3348	事務事業名称	県立八千代広域公園建設事業				所属名	公園緑地課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			八千代広域公園の基本計画は当初の策定から約１５年が経過し、この間に人々の環境保全や社会参加に対する意識の高まりに加え、少子高齢化や成熟社会の到来による社会情勢の変化等、都市公園を取り巻く状況は大きく変化していることから、事業内容の見直しを行った。一方、八千代市のスポーツ・レクリエーション施設の整備基本構想に基づき総合グラウンド等の整備の協議を行い、建設に着手する予定であります。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止（事業完了含む）								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			県立公園整備は事業内容の見直しにより市の負担は削減しました。しかし、新たに市単独事業として市民による全市的なスポーツ大会やスポーツイベント、小中学生による総合体育祭が開催可能な施設の整備（総合グラウンド）に着手する予定であります。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
広域公園並びに県立中央図書館に寄せる期待は大きなものがあることから、施設整備のあり方を含め住民の合意形成づくりが当面の課題であります。 ☆市議会の意見：①新川の浄化②市の財政負担（地元負担金）に対する懸念③県立中央図書館建設断念の表明に対する意見書の提出、請願を千葉県知事に行っています。 ★平成２１年度　市民による全市的なスポーツイベント、小中学校による総合体育祭が可能な市立総合グラウンドの基本設計を委託します。									

所属長コメント	広域公園内における、市の総合グラウンド建設等が基本設計実施により具体化する中で、建設及び今後の管理におけるに市民との協働等を模索していく必要がある。又、用地買収においても、ひとつひとつの課題を整理しながら効率的に進めていく考えである。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，課題解決に努め，可能なことから順次推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止（事業完了含む）									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									